

第1回「私の学校自慢」の表彰式を開催して

学会2日目の8月10日「私の学校自慢」表彰式を開催した。

日々奮闘している各学校の教育実践に光をあてたい、全国450課程を超える会員校の教育実践を相互に交流しあい学び合う場（機会）をつくりたいという思いから、当協議会が初めて企画した取り組みである。応募総数25課程の取り組みは、どれも非常に興味深く特色あるものばかりであった。委員で厳正な審査を行った結果、優秀賞3課程、奨励賞9課程、感謝状13課程を決定した。当日、学会に参加されていた10課程が登壇し、水方会長から表彰及び記念品を受け取った。

優秀賞受賞校を代表して、相生市看護専門学校校長の半田佳彦先生が、受賞への感謝とともに「せっかくなので学校自慢をさせていただきます。」と、看護学校の特徴・取り組みを述べられた。「ペーロン祭」とは100年を迎える相生市の伝統文化の一つであり、計32名が乗るペーロン船での競漕を行うものである。学校のペーロン部は学業が終わった夕方から練習し、お祭りが終わった後も練習を重ね、スモールドラゴンボートの日本選手権で優勝、坂出ドラゴンボート大会でもアベック優勝、と今や日本代表の強豪チームとなり地域の文化を継承している。この団結力は国家試験の自主的なグループ学習にもつながり、毎年全国平均以上の合格率を維持し、昨年度は合格率100%の快挙を達成した。これらの取り組みは学生そして教職員の奮闘の結果であり、この受賞に恥じないようにますます発展していきたいと決意が述べられた。

会長が表彰状を読み上げるたびに、表彰者を見つめる温かい眼差しと表彰校を称える大きな拍手がおこり、受賞者の晴れやかな姿を多くの参加者が撮影する等、会場全体を包みこむ豊かな時間であった。また、応募されたすべての取り組みが、直接聞きたい・見に行きたいとワクワクする「学校自慢」ばかりである。受賞25課程の内容はHPに掲載をしているので、ぜひご覧いただきたい。

全国の会員校が、繋がり合い・学び合い・高まり合いたい、夢膨らむ「私の学校自慢」は、来年も継続予定である。皆様のご応募をお待ちしている。

副会長 山田かおる